

質の高い幼児教育・保育とは！？

—冬の如く、厳しさに耐える強さを養う—

《対面研修＝公開保育、人の振り見て我が振りを直す絶好の機会！》

園長 山崎立哉

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、この3年間、保育研修も対面での研修は少なく、オンライン(Zoom)での研修が主になっていました。講師の話聴く研修はZoom研修で良かったのですが(研修会場へ行かず当園で受講することができる)、保育参観等の研修(実際現地へ行き、子ども達や保育者の様子を見ること)はほとんどありませんでした。

先月12日(土)に公開保育の研修が、牛津ルーテルこども園で3年ぶりに行われ、本園から私も含めて4名が参加しました。9時から園の概要の話聴き、9時半から11時まで保育参観、12時半から14時まで各グループによるカンファレンス、14時15分から16時まで全体会という内容でした。

牛津ルーテルこども園は、本園と同じく育児担当制、流れる日課を行っているこども園で、新型コロナウイルス感染症の発症以前は、お互いに保育参観をしていました。0, 1, 2歳児は保育室内で、思い思いに遊んでいて大きい声や走り回る子どももいなく、静かな空間の中でゆっくり時間が過ぎるような雰囲気、落ち着いて遊ぶ姿が印象的でした。年少以上児は縦割りクラスで、3, 4, 5歳児が同じクラスで過ごしていました。子ども達は自分の好きな遊びを主体的に行っていて、戸外遊びの後、各クラスで環境認識遊び「動物」やわらべうた遊びを課業(設定保育)に取り組んでいました。

このように他の園の保育を見る機会がとても少ない中、今回の公開保育はとても参考になりました。特にまだ保育教諭になって日が浅い先生にとって自分が行っている保育を見直すとても良い機会になったと思います。実際自分がしていることを、他の保育教諭はどのようにしているのか、直接現場で見ることができ、また、日頃の悩みや疑問を直接質問することができる絶好の機会でした。

「人の振り見て我が振り直せ」という言葉がありますが、私自身もとても参考になり、他の園の善い処はどんどん取り入れていこうと思いました。これからも、このような公開保育に積極的に参加できるようにしていき、保育者の保育に対する意識を高めることを行っていきたいと思います。